

| 学籍番号 | | | | | | 氏名 | 評価 |
|------|--|--|--|--|--|----|----|
| | | | | | | | |

裏書禁止、部分点なし

〔1〕 次の言葉、事項を簡潔に説明しなさい。（5点×10）

| |
|---|
| 1) 薬物送達システム |
| 2) リザーバー型放出制御製剤 |
| 3) 腸溶性顆粒型持続性製剤 |
| 4) 放出開始時間制御型製剤 |
| 5) 胃内浮遊性製剤 |
| 6) Binding Site Barrier 仮説 |
| 7) インターフェロンの PEG 化による利点と欠点 |
| 8) Enhanced Permeability and Retention 効果 |
| 9) プロドラッグ、アンテドラッグ、アナログの違い |
| 10) 経口徐放性製剤化が有効な薬物はどのようなものか |

〔2〕 標的指向型製剤として用いられる微粒子薬物キャリアーの例を二つ挙げ、それらの特徴について説明しなさい。(25点)

1)

2)

〔3〕 図に示す徐放性製剤に用いられている物質の役割について説明しなさい。(25点)

